

令和6年度九州大学大学院法学府
修士課程入学試験問題（春季）

民法

【第1問】（配点：50点）

以下の設問1～3のうちから1つを選び、設問番号を明記したうえで、答えなさい。

〔設問1〕

行為能力とは何か。

〔設問2〕

Aが所有する建物の床を、この建物を賃借しているBが、Aの承諾を得て、Bが購入した木材でフローリングにした場合、このフローリングの所有者は誰になるか。

〔設問3〕

Cは、CがDに対して有する1000万円の貸金債権を担保するために、Dが所有する建物に抵当権の設定を受けていた。この場合において、Cは、この抵当権を、CがEから800万円の融資を受けるために利用することができるか。

【第2問】（配点：50点）

以下の設問4～6のうちから1つを選び、設問番号を明記したうえで、答えなさい。

〔設問4〕

FはGに対して売掛債権（代金債権）を持っているが、Gが弁済期に弁済しなかったために、Fの営業に支障が生じ損害が発生した。Fは、この損害をGに対して請求できるか。

〔設問5〕

Hは営業のための運転資金が一時的に不足しそうになったため、長年の友人であるIから金銭を借り受ける約束を取り付けた。ところが、Hは売掛金の回収が予想以上に順調であったことから、Iから借り入れをする必要がなくなった。この場合のH・Iの関係について説明せよ。

〔設問6〕

特別養子とは何か。